

年強力推進

市政刷新元



▶行政改革に向け市長と職員の実創討議

六月定例市議会は、六月十四日から二十五日までの日程で開会され、浜田市長は、開会冒頭市職員による酒気帯び運転検挙について陳謝した後、行政改革大綱の策定、空港拡張問題、オフィスパーク事業、浜改田地区流通団地など市政の重要施策について所信を述べ、引き続き当面する市の重要な課題について報告しました。

(本文は市政報告のあらましです)

空港の拡張整備

については

本年の三月十五日に航空法に基づき施設変更告示がなされ、拡張に向けて大きく動きだしました。

拡張に同意をされていない地権者の方々には、今後とも誠意を持ってご理解いただけるよう努めます。

南国オフィスパーク事業については

地域振興整備公団による宅地造成工事はまもなく完了します。

立地企業については、既に進出協定を締結しています四社に加え、新たにソフトウェア業の具内大手企業、「株式会社アイビス」と「株式会社ヒワサキコンピュータシステム」の二社が内定しました。

浜改田地区流通団地については

平成九年度末の一部分譲を目指し、工事は順調に進捗し市が分担する幹線道路および取り付け道路についても全方

で取り組んでいます。

「からくり創造工房」については

江戸時代の万能科学者、細川半蔵の偉業を現在にと「からくり半蔵研究同志会」が設立され、垣内保夫会長の多大な「尽力により「からくり創造工房」が建設、市に寄贈されました。

垣内会長に深く感謝の意を表します。

この工房が、青少年はもとより、市産業と経済力の増進に役立つよう運営を充実していきます。

新総合計画「土佐のまほろば・南国ルネサンス構想」については

広報紙により十二回シリーズで掲載中で、施策の実施は事務・事業の点検、評価をしながら、時代の要請を反映させた実効性のある計画とします。

都市計画

事業については

高知南国線は、平成七年度末

重要施策

行政改革大綱の策定については

昨年から市民と市職員で討議を重ねてきました本市の抜本的な改革の基本方針となる「南国市行政改革大綱」を策定しました。

幹部職員による「本部会」で審議したものを市民や議会などの代表者による「市行政改革推進委員会」で調査審議していただき、意見提言により策定したものでおおむね五年をめぐりに実現を目指します。

着々すすむ



▶ほ場整備の完成した水田、この夏の収穫が楽しみです。

の事業費ベースで約二十五割(面積比四十三割)の進捗率です。

吾岡山の整備は、用地買収および公園整備関連工事を施工し、引き続き精力的に取り組みます。

ホープ計画、木の文化構想に基づく市民参加の住宅研究会の組織化、久礼田保育所瓶岩体育館などへのホープ仕様の適用などに努めてきました。

同和対策事業については

小集落地区改良事業は、最終年度になり事業の完了に向けさらに公園、緑地などの整備に努力します。

米の新生産調整対策については

目標をクリア出来る見込みです。農家の皆さんが米価などの先行きを厳しく受けとめ、対応していただいた結果で、ご苦労に敬意を表します。早場米産地として高品質な米をより早く出荷できる体制の整備に取り組んでいます。

小集落地区改良事業ほぼ完了



▲工事中の新年(上)改良団地

生活環境問題については

市環境センターは、業者から引き取り後約四か月を経過しましたが、順調に稼働しています。

ビン類の三種分別収集も、市民の協力を得て定着、資源の有効利用を促進します。

最終処分場の建設については、香西清掃組合加盟九市町村で検討を進めており、七月には首長会を開き、単独か、広域かの方向を見出したいと考えています。

教育関係については

篤志家の寄付による、からくり創造工房の建物が落成し、この施設内に登校拒否児(不登校)および外国籍児童生徒が学校生活に円滑に适应できるように準備する場として設置した「ふれあい教室」には、二名の専門指導員を選任しました。

木造で「重ね梁持ち送り型式」という県内では珍しい工法を採用した瓶岩体育館が五月十九日落成しました。

福祉政策については

生活保護世帯は、七年度末で四百六十七世帯となり、十年前に比べると、半減しています。高齢者、傷病世帯がほとんどで、社会保障制度の活用と、きめ細かな支援を行い充実していきます。

平成八年度の一投

会計の財政運営については

経常経費の一層の引き締め、より効果的な財政運営に努めます。